

# 「九州・長崎IR」 CONCEPT

## 【目指す姿】

九州・長崎の独自性ある強み、設置運営事業予定者（カジノオーストリア・インターナショナル）が持つオーストリア・ウィーンの特長を融合し、唯一無二の誘引力あるエリアを創り上げることで、九州・長崎を日本の象徴にまで押し上げて、世界中から多くの観光客を誘客～日本全国へ送客を果たし、「**観光産業革命**」を実現します。

## 【九州・長崎IRの魅力】

東洋文化と西洋文化の融合、伝統的なものと革新的なものの融合。時代を超え、距離を超え、広く受け入れ、取り込んで、新しく生み出す。これこそがこの九州・長崎IRの魅力・価値である「**真の和洋折衷**」です。

Concept

# Accept, Devise, Creation

様々な文化を受け入れ、融合し、新しい価値を生み出す街。

IRを設置・運営することで長崎県が抱える5つの課題に対して貢献します。

### 【貢献①】

雇用の創出  
所得の向上

### 【貢献②】

人口減少の  
抑制

### 【貢献③】

新たな人の流れ  
の創出

### 【貢献④】

地域経済の  
活性化

### 【貢献⑤】

財政基盤の  
強化

## 長崎県が抱える課題に対しての具体的な貢献内容

### 【貢献①】 雇用の創出 所得の向上

IR施設では施設内において大きな雇用が創出され、周辺地域においても産業が盛んになり、所得も向上することが想定されます。

施設内雇用者数：  
約1万人

### 【貢献②】 人口減少の 抑制

周辺地域でも雇用が創出されることで、人口減少が抑制されます。

雇用誘発効果：  
運営時 約3万人

### 【貢献③】 新たな人の 流れの創出

毎年多くの来訪客が見込まれており、それらの来訪客の一定数が他地域に送客されることで新たな人の流れを創出します。

来訪者数：  
約840万人/年

### 【貢献④】 地域経済の 活性化

IR施設の建築段階及び運営段階の双方において、多くの需要が創出され、地域経済の活性化に貢献します。

経済波及効果：  
運営時 約3,200億円/年

### 【貢献⑤】 財政基盤の 強化

毎年、カジノ収益の15%相当の納付金及び入場料納入金が納入され、県・市の財政基盤が強化されます。

県納付金・入場料納入金：  
約300億円/年



# 九州・長崎IR イメージパース





# 九州・長崎IR イメージパース



街中景観



マリーナ



街中景観



施設鳥瞰



# 九州・長崎IR イメージパース



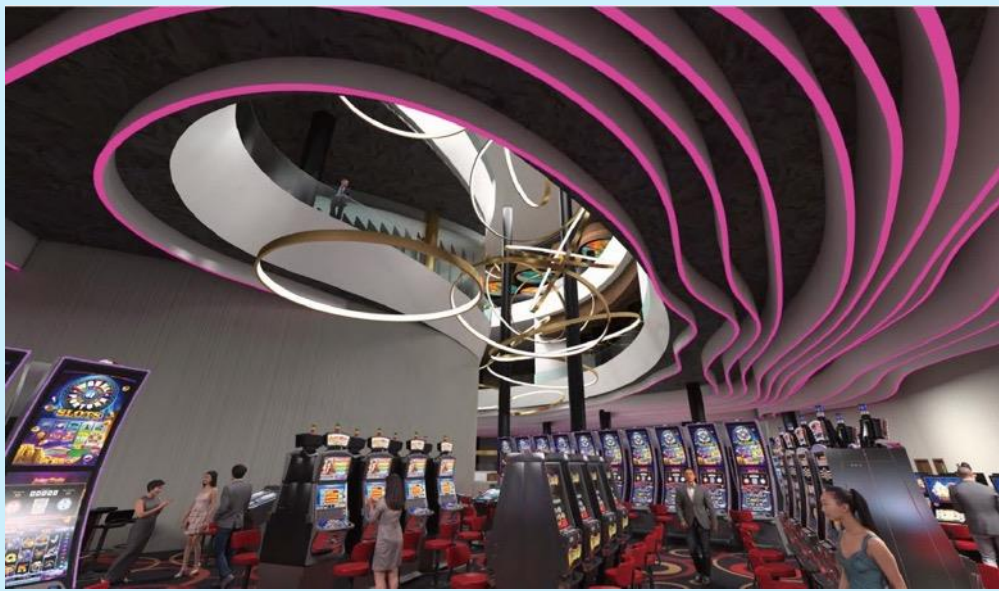
国際会議場レセプションホール



クリスタルタワーホテル客室



展示場ホワイエ



カジノ



# エリア全体配置図

- 「真の和洋折衷」のコンセプトの具体化を意識したデザイン。
- 過去から現代そして近未来へと連続的に形成される街としての配置計画。
- ハウステンボスとの景観調和に配慮。



エリア面積 約32ha(ヘクタール)

IR施設の床面積の合計 約55万㎡(平米)